



～保育の更なる質の向上に向けて～  
東京大学大学院教育学研究科と連携協力協定を締結します

令和5年4月27日  
区長記者発表

これまでの  
保育の質の向上に  
向けた区の取組

- ◆ 令和3年度児童相談所設置市(政令指定都市を除き全国で7か所目)となり、指導検査と巡回指導を強化(対象施設80件中80件の実地検査)
- ◆ 令和4年度から、社会保険労務士による労働環境モニタリングを実施し、保育士の離職防止(私立認可保育園8園、小規模保育事業所2園)
- ◆ 令和4年～令和6年にかけて、保育アドバイザーを210回派遣予定(R4:55施設延59回派遣、R5:50施設に派遣予定)
- ◆ 令和4年度保育士の研修の充実(年31回実施、参加者延べ1,902人)

区職員が保育施設を訪問する中で見えてきた課題

経験の少ない保育士が多い



ノウハウが蓄積されない

令和4年9月に静岡県で発生した通園したバスの置き去り事故や12月の園児虐待等



人材育成、保育施設の運営に支援が必要な場合がある

子どもの人権擁護に配慮した関わりの必要性がある

更なる取組強化が必要！

保育の質の向上に関する最先端の研究を保育の現場に

## 5月に東京大学大学院教育学研究科と連携協力協定を締結します

### 連携協力事項の内容

- ◆ 区の子ども子育てに関する取組への東京大学の知見の提供及び協力
- ◆ 幼児教育・保育の質の向上に係る調査研究事業への協力



東京大学大学院教育学研究科附属「発達保育実践政策学センター」  
Cedep(セデップ)が区の保育の質の向上に協力！

セデップとは、乳幼児の発達や保育・幼児教育の実践、政策の研究を推進する拠点です

### 連携協力協定でできること



**港区版保育の質向上のための事例集作成**  
区の保育施設の園長とセデップの研究員が保育現場に沿った手引きと事例集を作成、保育現場の悩みを反映(令和6年3月完成予定)

**保育施設の運営、人材育成**  
保育の質の向上に向けて専門家が保育施設を視察し、発達科学等の実践的研究からアプローチ(令和5年4月訪問)



港区ならではのより質の高い保育の確立